

月刊 かわごえ環境ネット

2013年6月号 No.080

<http://kawagoekankyo.net>



2013年6月1日発行

編集・発行：かわごえ環境ネット

<http://kawagoekankyo.net>

Twitter: @kawagoekankyo

Facebook: kawagoekankyonet

目次

川越の自然を訪ねて (9) 川越の食べられるキノコについて……	2-3
かわごえ環境ネットの活動報告 (1 題) ……………	4
会員からの報告 (3 題) ……………	5-6
理事会・専門委員会からの報告 (4 題) ……………	7-8
おしらせ ……………	8-13
イベントカレンダー ……………	14

【巻頭言】事業運営委員会による全体事業がスタート



川の一斉水質調査



環境月間 環境啓発展



アースデイ・イン・川越 立門前



川越まつりまち美化活動

5月25日の2013年度総会によって本年度の事業計画が承認され、本年度の事業が本格的にスタートしました。2000年8月5日に設立されたかわごえ環境ネットは、早くも14期目の活動となり、2020年に來たる設立20周年に向けて確実に歩みを進めています。

すでにお伝えしていますが、今年度組織体制を改め、時限的に設置していたかわごえ環境フォーラム実行委員会を常設化し、新たに「事業運営委員会」を立ち上げました。このことにより、幅広い分野が協働する全体事業の管掌組織を明確化し、計画的、組織的に事業を推進する体制を整えました。

左の写真は、前年の事業ですが、今年も6月2日に川越市内各所で採水する「川の一斉水質調査」、6月15・16日につばさ館で開催する「第2回 環境月間 環境啓発展」、7月・10月・12月に実施する郊外・川越まつり・中心市街地のまち美化活動、10月6日に開催される「アースデイ・イン・川越 立門前」実行委員会への参画・出展、11月の「第13回北公民館かんきょう祭り」への出展など、そして、2月に開催予定の「第12回かわごえ環境フォーラム」を事業運営委員会が管轄して、事業の企画・調整・実施をしていきます。

限られた人員で運営している委員会ですので、行事開催にあたっては多くの会員の協力が必要です。それぞれの実行委員としての参加も含めて、事業運営のためのご協力をお願いいたします。

(かわごえ環境ネット理事長 小瀬博之)

川越の自然を訪ねて (9) 川越の食べられるキノコについて



チチタケ

キノコの季節が近づいていますので、川越のキノコについてその一端を述べてみたいと思います。

10年ぐらい前になりますが、(仮称)川越市森林公園計画地で散策していると、Sさん(故人)というキノコ狩りの名人によく出会いました。ムラサキヤマドリタケは美味しいから食べてみなさいと言って差し出してくれたことがあります。八ヶ岳の近くで育ち、若い頃はキノコを探して山を駆け回ったという御仁でした。

植物観察などではキノコにはよく出会いますが、専門的なことは私には分かりませんので、素人の一住民の目で川越の食べられるキノコのことを述べてみたいと思います。

埼玉県には埼玉きのこ研究会というきのこ愛好家をはじめ、専門家も加わった会員制の団体があります。観察会や採取会のほか講演会や料理教室もあります。私は会員ではありませんが1日会員として時々参加していますが、学ぶことが多く、たいへんお世話になっています。

キノコと言えば「食べられる」かどうかに興味をお持ちの方が多いようです。キノコにカメラを向けていると「食べられますか」とよく聞かれます。名前を聞く人は少ないようです。

秩父や飯能、越生などで美味しいキノコと言えばウラベニホテイシメジ(俗称イッポン)やムレオオフウセンタケ(俗称クロダイコク)など有名ですが、川越には丘陵や山がないせいか、私は川越でこれらに出会ったことはありません。

新聞等で騒がれるキノコ中毒事故はクサウラベニタケ(毒)を上記のウラベニホテイシメジ(食)との誤認が多いそうです。奥秩父の山中を歩くと、上記の両種が同じ場所で隣り合わせに並んでいることは珍しいことではありません。ベテランのキノコ屋も間違いやすいと言われる所以です。幸か不幸か川越の林ではこれらのキノコは極めて少ないようです。

林野庁のHPには次のように書いています。「日本には、四千から五千種類のきのこが存在していると言われていますが、正確な数は分かっていません。このうち食用とされているきのこは約百種類、一方、毒きのこは約四十種類が知られていますが、その他の大半のきのこについては、食毒が不明となっています。」・・・(以下略)

別の説では8000種からそれ以上とも言われていますので、図鑑等で名前が付いているのが3000種ぐらいとすれば名前の分からないものがその2倍ぐらいは存在することになります。

川越に話を戻します。川越の地元の方はチチタケ(乳茸)しか採っていないようです。もししかしてムラサキヤマドリタケを採る人のほとんどはよそから移り住んだ人ではないでしょうか。Sさんは生前、ムラサキヤマドリを知り合いの飲食店に届けていると話していました。キノコ狩りの経験が深く、店からの信頼が厚かったようでした。

キノコ狩りは朝が早く、野鳥観察に7時ごろ出かけると、もう籠を抱えたキノコ屋さんがいました。話を聞くと鶴ヶ島から来たという蕎麦店の若主人でした。チチタケ(写真)だけを狙っていました。話は飛びますが、茨城県ではマツタケよりもチチタケを大切にすそう、蕎麦やうどんの出汁には無くてはならないといひます。食感ほぼそぼそですが、出汁が抜群という訳です。

川越のキノコを知る手がかりは、先の埼玉きのこ研究会観察記録にあります。同会HPの2000年から2012年までの13回(13年間)に亘る記録を調べました。川越の3地点で約340種(森林公園計画地のものが多い)は、毎年6月第4日曜日

に観察されたものの集積です。年間通しての記録ではありませんが、初夏に現れるものは出揃っていると考えられます。秋のものを加えると100や200のオーダーで種類数増えると思われま

す。6月だけのデータを眺めて食菌が非常に少ないことに気がきます。地元の方はチチタケだけしか採らないというのは、一つの食文化ですが、環境がそうさせていると言えそうです。

6月の記録の中から出現頻度の高いもので食菌として、よく耳にするものだけを拾いだしてみました。まだ細かく調べれば増えると思います。マツオウジ、ツエタケ、ヒラタケ、ナラタケ、ナラタケモドキ、チチタケ（チタケともいう）、アカヤマドリ、ムラサキヤマドリタケ、ヤマドリタケモドキ、アイタケなどでした。

一般的にはイグチ科やキシメジ科には食べられるキノコが多いのに対し、テングタケ科は毒キノコが多いです。

キノコ狩りの名人は、そのノウハウを誰からか受け継いでいます。それが父親だったり、キノコの達人であったり、キノコ仲間であったりでしょう。

一方、毒キノコを見分ける「迷信」も誰言うもなく伝わっているようです。毒キノコを簡単に見分けることは万人の憧れかも知れませんが、自然はそんなに甘くはないようです。川越市保健所HPに次のような警告がありますが、毒キノコを容易に見分けたい思いの裏返しとも言えるでしょう。参考のために一部をご紹介します。

<俗説や通説の例>

- 1.柄が縦に裂けるものは食べられる ←ウソ
- 2.地味な色をしたきのこは食べられる ←ウソ
- 3.虫が食べているきのこは食べられる ←ウソ
- 4.干して乾燥すれば食べられる ←ウソ
- 5.塩漬けし、水洗いすれば食べられる ←ウソ
- 6.カサの裏がスポンジ状なら食べられる ←ウソ

以上ですが、説明は省きます。さらに追加する

と、「なすと一緒に煮込めば毒が消える」これもウソです。ナスに解毒作用はないからです。

私の隣人でキノコ狩りの好きな方がいますが、今でもこれを半ば信じており、ナスを加えて調理しないと気が済まないようです。もちろんナスは味を調えるのに役立っていますので、結果的にはおいしくいただけますが・・・。

◇キノコの食毒の見分け方には特効薬的なものはありません。キノコを一つ一つ覚えることから始めなければなりません。食べる目的でキノコ狩りをやるには、食べられるものだけを確実に覚え、不明なものには手を出さなければよいわけです。

◇キノコ観察会への誘い

キノコに興味のある方は、埼玉きのこ研究会等が定例的に実施（川越地域での観察会もあります）している観察と採取の会などに参加されることをお奨めします。俗説や通説が間違っていることは、天然の食菌や毒きのこを見たり触ったりすることで、自ずと解消され、笑い話になります。

◇天然キノコと放射能

天然キノコについては、昨今は放射能が心配されていますが、秩父に住む知人のキノコ屋氏は、放射能測定器を持ち歩いて確かめながら採取しているようです。

◇ハナビラタケの寿司

観察会で栽培キノコ研究家の作ったハナビラタケの寿司をご馳走になったことがあります。魚の寿司に較べ、歯切れがよく、味が抜群でした。栽培きのこの種類も増えています。

◇キノコ図鑑をご紹介します。

『都会のキノコ（改訂版）』大舘一夫 著 八坂書房 本体1,800円

本書は、都会のキノコたちとの出会いを楽しみながら、キノコはどんな生き物か、キノコとどう付き合い、どう楽しむかを知っていただくためのキノコの入門書になっております。

（稗島英憲）

かわごえ環境ネットの活動報告

新緑の雑木林 自然観察会

自然環境部会

日時：5月19日（日）9:30-12:30

場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地

当日は薄曇りで爽やかな天候でした。今回の観察会の参加者は15名と少なめでしたが、その分対話ができ、坂戸から越してきて1年になるという方は「川越にこれほどのまとまった緑が残っているのは驚きです。」とのことでした。

今の時期は、樹木の花が次々と咲きつないでいます。ウワミズザクラ、ウグイスカグラなどはもう実になりました。エゴノキは丁度満開を過ぎたところで、地面が白い絨毯になっています。サワフタギは今年もシロシタホタルガの幼虫に葉を食い荒らされ、秋にルリ色の実は見られないかもしれません。これから6月になってムラサキシキブが濃いピンクの花を、リョウブが白い花を咲かせてほぼ樹木の花は終わります。

林床にはクチナシグサ（準絶滅危惧種）が名前の由来となる実をつけています。イチヤクソウは白いツボミをつけ、フタリシズカが数株ありました。これからは林床もイネ科に覆われ青草の匂いでむせ返るようになります。

この雑木林には70種もの樹木がありますが、圧倒的に多いのはコナラで次いで、アオハダ、アカシデ、アカマツなどです。逆にとても少な

いのが、ハウノキ、トチノキ、マルバアオダモなどです。今のところ、この1本だけというトチノキのそばで記念撮影？をしました。マルバアオダモはナンジャモンジャノキと近縁で霞のような花を咲かせますが、この林のはまだ小さく花は先のようなようです。

雑木林を歩いていると野鳥の声も耳に入ります。シジュウカラ、アオゲラ、コゲラはよく鳴いていました。参加者の方が福原の明見院に連なる雑木林では連休の頃、キビタキを観察したという話をされました。キビタキは夏鳥として日本の山地に渡る際、この近縁を通過していきますが、早朝がんばって雑木林に出向くと会えるのですね。運がよければオオルリの声も聞けるそうです。

また、今年は市がチョウの情報提供を市民にお願いしています。「(仮称)川越市森林公園」計画地ではチョウの種類も多く、ゼフィルスを見することもできます。ミズイロオナガシジミは6月上旬にここ3年間出現しています。多くの生き物が生息しています。どうぞ足をお運びください。

(賀登環)



キノコがありますね



トチノキを見上げる



シロシタホタルガ

幼虫

成虫



マルバアオダモ (参考画像)



ミズイロオナガシジミ

会員からの報告

5年目の標識アユの遡上調査放流



作業風景



ハサミでヒレを切る



放流したアユ

荒川流域ネットワークの荒川流域再生プロジェクトによる、標識アユの遡上調査放流も5年目を迎えました。今年は4月28日(日)に、高麗川の2号堰下流(坂戸市)と越辺川の越辺川橋上流(毛呂山町)の2ヶ所で合計8550尾。5月2日(木)には都幾川の宮ヶ谷戸前堰(ときがわ町)で4181尾の標識放流の作業をしました。

東京湾で越冬した稚アユが遡上してきたところを、荒川の秋ヶ瀬取水堰で採取し酸素を補給しながら会場に運搬。網の生け簀に移し替え、少し麻酔をかけてアブラビレという部位をハサミで切り取り標識とし放流する。実に根気のいる作業を1会場20~30人で半日かけてこなします。それを解禁日以降、釣り人の協力を得て上流のどこまで自然に遡上したかを調査する。そ

れによって遡上出来た堰、出来なかった堰を確認記録できるわけです。

入間川水系は川越にある菅間堰で遡上を拒まれ、都幾川・越辺川・高麗川・入間川の上流域まで遡上出来ません。埼玉県「川の国埼玉」、「川の再生」事業に働きかけ、入間川の菅間堰などに魚道を設置することが進められます。いずれの堰も年数が経っているのでどのような姿になるかは分かりませんが、期待されるところです。人間の都合で堰が設けられた結果、河川の下流から上流へのつながりが無くなりました。今後は荒川本流での同様の調査活動が進められ、埼玉県全域での魚道設置が進めば、多様な水生生物の生息出来る河川環境が復活、整うことでしょう。(菅野仲夫)

まち美化啓発運動(本川越から中央公民館間の道を)



本川越駅前交番に集合

クリーン&ハートフル川越の定例行事「やめましょう!歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動が5月12日(母の日)に実施されました。

総勢5名が3班に分かれ9時30分に本川越駅前交番を中央公民館に向かって出発。ゴールデンウィークの影響か、



灰皿になった? 雨水枡

そこかしこにタバコの吸い殻がすてられていました。前日の雨で吸い殻が舗装面等に付着、入念に剥がしながら拾いあげました。10時45分に中央公民館に到着、集めたゴミを分別し「また次回もよろしく」と声を掛け合い解散しました。

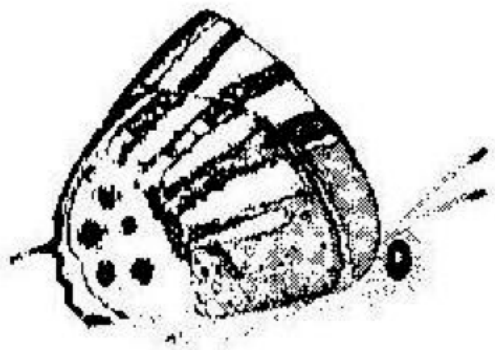
★参加希望者は毎月第2日曜日9:30に本川越駅前にお出でください。次回は6月9日(日)。(菊地三生)

初夏にちょっといい話-2 題

1 チョウの世界はミラクルワールド

暖かい陽射しに活発に活動するチョウは春のシンボルです。見慣れたモンシロチョウ、アゲハチョウなど蜜や相棒を求めて飛んでいます。そして花の咲いている道端もよいウォッチングポイントです。ヤマトシジミかなと思っていたが、表羽が少し黒い。近づいて見ると後羽にヒモがついてシジミチョウの仲間です。裏羽にオレンジの模様があり、“トラフシジミ”とわかりました。クズなどを食草にして雑木林の周辺に生息する小型のチョウです。図鑑には94年に川越で撮影と書かれていましたので、その後も生き残っていたようです。

私は初めてこのチョウを観察することができました。チョウに関心をもつと多くのことが分かるようになります。新たな発見を求めてチョウワールドへ。



トラフシジミ

(イラストは栗林菊夫氏の『鳥で遊ぶ絵問・』から引用しました)

2 ヤマは渡り鳥のオアシス

4月25日から毎朝、今福の雑木林に夏鳥の渡

りを観察に行きました。初めは少し寒く北風が続いたので夏鳥の声が聞こえません。その代わりに、プチプチと鳴くシメが4,5羽の群れに、また林床で餌を探しているアカハラにも出会えました。

29日暖かい南風がふき、渡り鳥の世界でも交代がありました。30日早朝、雑木林に行くとキビタキの美しい声が聞こえます。

林の中を探してその姿を見つけることができ感激です。この時期、わずか1週間ほどの出会いです。次の日にはセンダイムシクイの声も聞かれました。

この7年間でキビタキが初めて観察される月日は表の通りです。

5月4日にはオオルリも観察され初めての発見に興奮しました。(個人会員 過昌司)



キビタキ: スズメくらいの大きさと胸のオレンジがきれいな夏の渡り鳥で、美しい声で囀ります

キビタキの渡り日

年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
観察日	4/30	4/29	5/3	5/1	4/30	4/29	4/30

理事会・専門委員会からの報告**理事会**

2013年度第3回理事会が5月28日(火)9:00-11:00に福田ビル3階会議室にて行われました。主な議事は次の通りです。

1. 環境月間 環境啓発の展示物について

「なぐわし公園」に関しては公園整備課と協議、「川のまるごと再生」については埼玉県に折衝する。本会の実物展示は研修室内で実施する。パネルの使用枚数(6枚)を確認した。設営作業は開催前日(6月14日)9時から実施する(出展者は当日開場時間より)。

2. 総会開催報告

出席36名、委任者75名、計111名(会員数162名の過半数)で成立した。

3. 新河岸川流域水環境連絡会への会費納入

確認の上、不足分はさかのぼって納入する。

4. その他

川越市自治体連合会が実施する10月18日の自治会連合会の全国大会におけるクリーン活動の実施(山車が一番街に出る時間帯)について提案があった。(理事長 小瀬博之)

事業運営委員会

2013年度第2回事業運営委員会が5月28日(火)11:15-12:00に福田ビル3階会議室にて行われました。主な議事は次の通りです。

1. 年間行事計画・主担当者の確認

8月4日に実施する「エコプロダクツ川越2013」への出展を決定。川越まつりまち美化活動は、前日の10月18日に実施される自治体連合会の全国大会における一番街の歩行者天国時にも実施する。「第12回かわごえ環境フォーラム」は、次回委員会にて開催期日、場所を決定する。

2. 川の一斉水質調査(6/2)の実施

事前説明会を5/25に実施したことなど。荒川流域と新河岸川流域の測定は、それぞれの上部団体の方法に従う。

3. 環境月間 環境啓発展

担当者: 6/14(金) 前日準備(原嶋、武田+2

名、横山)、6/15(土)9:00-16:30(横山、原嶋、菊地、井口、9:00-10:00武田)、6/16(日)9:00-16:30(日)小瀬、村上、原嶋(午後)、菊地、井口、武田

プログラム、展示内容の決定(詳しくは「おしらせ」に掲載)

4. その他

2013アースデイ・イン・川越 立門前は、第1・3火曜日に実行委員会開催、次回は6/4。

6月25日(火)理事会後の委員会は、郊外クリーン活動、エコプロダクツ川越2013出展の検討が中心。かわごえ環境フォーラムは8月28日(水)15:00-17:00に開催される委員会で検討。この日の終了後に会員参加の交流会を開催予定。

(委員長 小瀬博之)

社会環境部会

5月の例会は、10日(金)に市役所地下修養室にて10名出席で会議を進めました。

まず、25日(土)の総会には極力出席するよう要請しました。

6月15日(土)、16日(日)に、つばさ館3階研修室において行われる環境啓発展の内容は、小中学生の環境ポスター展、行政およびかわご

え環境ネットのパネル展、デモンストレーション、苗配布などを行うと共に小規模のパネルディスカッションを行う方向で進めていることを報告しました。

環境施設めぐりは、9月7日(土)江戸東京博物館、東京臨海広域防災公園および日本科学未来館に決定しました。募集人員は25名、参加

費は観覧料込で2,000円(小中高生は1,500円)で集合7時50分、帰着予定18時30分です。詳細は月刊かわごえ環境ネット6月号と一緒に案内チラシを同封することになりました。

また、活動計画の一環として、浜尾さんの企画で名細公民館に講座申請を行いました。テーマは「元素を知って環境や健康を考えよう」です。実施可否を問わず大変興味深い話なので月

刊かわごえ環境ネットに概要を掲載するか、部会で話をして頂くなり検討することになりました。

また、環境啓発展における魚の展示を両部会の合同で行うことで進めています。15時から15分ほど自然環境部会と合同で話し合いを行いました。交流促進の意味もあり、合同部会を実施することはよいのではないかと実感しました。(社会環境部会代表 原嶋昇治)

自然環境部会

5月定例会は市役所地下修養室にて14名の参加で開催されました。内容は以下の通りです。

- ①今年度の活動計画について、前月から継続の年間計画をほぼ確定した。みなみかぜ田んぼとのイベント2件を共催で実施することになった。
- ②環境啓発展(6/15,16)への協力について話し合う。ポスター展示、小畔川の魚類展示(6/11

に魚の採取)などを行う。

- ③一斉水質検査について 6/2に33ポイントで実施、説明会は5/25市立博物館で総会の前に行う
- ④県民参加モニタリング調査の2012年度会計報告

(自然環境部会代表 賀登環)

お知らせ

環境月間 環境啓発展 6月15・16日開催

環境省が定めた6月の環境月間に合わせて、本会では「環境月間 環境啓発展を前年度から開催しています。今年は6月15日(土)・16日(日)9:00-16:30までの開催で、会場は環境プラザ「つばさ館」(川越市鯨井782-3)です。ぜひご来場ください。

本会の出展内容

本会では、次の催しと実物・体験展示、ポスター展示を行います。

1. 懇談会「地球温暖化対策とエコぐらし」(6月15日10:00-12:00、宮崎誠氏、川越市資源循環推進課の講演とディスカッション)
2. 緑のカーテン苗配布(6月15日10:00からゴーヤ、フウセンカズラ、パッションフルーツの苗先着100個ずつ)
3. 実物・体験展示(魚類、燃料電池、LEDと白

熱球の明るさ・電力量比較、生ごみで作った野菜、)

- 4. ポスター展示(生ごみリサイクル、魚、本会の総合案内)

会員等の展示

2回目となる今回は会員の出展を募り、5会員(ふくはら子どもエコクラブ、クリーン&ハートフル川越、ネットワーク『地球村』かわごえ、二見正憲氏、宮崎誠氏)の出展・展示があります。また、川越市公園整備課の「なぐわし公園」と埼玉県「川のまるごと再生」に関するパネル展示もあります。

川越市環境月間ポスターコンクール

なお、川越市が主催する「川越市環境月間ポスターコンクール入選作品展示会」も同時展示されます。

「キノコの観察会」を7月7日(日)に開催

川越の南部、下松原・砂新田に武蔵野の雑木林が残っています。この一部は「(仮称)川越市

森林公園」計画地として「森のさんぽ道」が整備されています。川越でも格段に生き物の多いエリアですが、ここはまた、キノコの多い場所でもあります。今月号の「川越の自然」シリーズをご覧くださいとよくわかります。

日時：7月7日（日）9:00-12:00

場所：川越南文化会館（ジョイフル）9:00 集合
（川越市今福 1295-2）

講師：大久保彦氏、稗島英憲氏

費用：保険代など 100円

持ち物など：筆記用具、ルーペ（あれば）、帽子、飲み物

申し込み・問い合わせ：049-224-5866 川越市環境政策課かわごえ環境ネット事務局まで

主催：かわごえ環境ネット自然環境部会

◎一般募集先着 30名、少雨決行（荒天中止）

「虫の観察会」を7月28日（日）に開催

「（仮称）川越市森林公園」計画地で虫の専門家と観察します。夏休みですので子ども歓迎です。

日時：7月28日（日）9:00-12:00

場所：川越南文化会館（ジョイフル）9:00 集合
（川越市今福 1295-2）

講師：内田正吉氏、谷津弘子氏

費用：保険代など 100円

持ち物など：筆記用具、ルーペ（あれば）、帽子、飲み物、虫あみ

申し込み・問い合わせ：049-224-5866 川越市環境政策課かわごえ環境ネット事務局まで

主催：かわごえ環境ネット自然環境部会

◎一般募集先着 30名、少雨決行（荒天中止）

夏の郊外クリーン活動

本会の全体事業として、クリーン活動を年間3回実施します。今回は最初の活動となります。

日時：7月21日（日）9:30-11:30

行程：下記の2コースで実施

① 川越警察署前集合、バイパスを二手に分か

れて「やすらぎの郷」まで。

② 伊佐沼横の荒川右岸用排水組合事務所前集合、二手に分かれて農業センターまで。

参加方法：参加希望コースを3日前までに武田（090-2521-5770）までご連絡ください。

「環境施設めぐり（バスツアー）」を9月7日（土）に開催

環境学習の一環で、江戸東京の文化と生活、地球の環境と科学の未来、大地震に遭遇した時の対応方法のテーマで施設見学をいたします。

日時：9月7日（土）7:50-18:30（雨天決行）

行先：江戸東京博物館、東京臨海広域防災公園、日本科学未来館

定員：先着 25人、参加費 2000円（小中高生 1500円）

観覧料、損害保険料を含む、弁当持参途中で購入が可能です。

申込：8月1日（木）9時より電話で環境政策課に申込ください。（Tel.049-224-5866）

会員の方は、6月号に同封されるちらしをご覧ください。行程など詳しく書かれています。

関連サイト：

江戸東京博物館（<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>）

東京臨海広域防災公園（<http://www.ktr.mlit.go.jp/showa/tokyorinkai/>）

日本科学未来館（<http://www.miraikan.jst.go.jp>）

かわごえ環境ネット主催行事一覧（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

<会合>

●社会環境部会（2013年6月度）

日時：6月14日（金）13:00-15:00

場所：川越市役所地階修養室（川越市元町1-3-1）

●自然環境部会（2013年6月度）

日時：6月14日（金）15:00-17:00

場所：川越市役所地階修養室

両部会は、毎月第2金曜日の13:00-15:00、15:00-17:00の連続開催です。今回は7月12日（会場は福田ビル3階会議室）です。会員であれば自由に出席できる話し合いにご参加ください。

◆広報委員会（2013年6月度）

日時：6月18日（火）9:00-10:30

場所：川越市役所5階フリースペース

今回は7月16日（火）9:00-10:30に開催

◆理事会（2013年度第3回）

日時：6月25日（火）9:00-11:00

場所：川越市役所7C会議室

今回は7月23日（火）に開催

◆事業運営委員会（第3回）

日時：6月25日（火）11:00-12:00

場所：川越市役所7C会議室

<自然環境の調査・保全活動>

★池辺公園定例活動（毎月第1火曜日）

日時：6月4日・7月2日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺1302）

問い合わせ：菅野

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全活動

日時：6月10日・24日・7月8日・22日（月）9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）9:30

（川越市今福1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

毎月第2月曜日は植物調査、第4月曜日は西側公有地の常緑広葉樹林遷移防止のための手入れ保全作業。

★県民参加モニタリング調査関連 魚類調査

「小堤・八幡水路魚類調査」

期日：6月13日（木）9:00-

集合：小堤八幡神社昇殿石段の鳥居前付近

問い合わせ：大辻（049-231-1510）

★仙波河岸史跡公園植物調査

日時：7月17日（水）9:00-

場所：仙波河岸史跡公園（川越市仙波町4-21-2）

問い合わせ：菅野

<イベント>（詳しい情報は「おしらせ」の各記事をご覧ください）

★キノコの観察会

日時：7月7日（日）9:00-12:00

場所：川越南文化会館（ジョイフル）9:00 集合（川越市今福1295-2）

★虫の観察会

日時：7月28日（日）9:00-12:00

場所：川越南文化会館（ジョイフル）9:00 集合（川越市今福1295-2）

★交流会

日時：8月28日（水）17:30-19:30（予定）

飲食を楽しみながら、会員の懇親の場を作ります。詳細は決まり次第掲載します。

★環境施設めぐり（バスツアー）

日時：9月7日（土）7:50-18:30

場所：川越駅西口暫定字湯広場前 8:00 出発

見学先：江戸東京博物館、東京臨海広域防災公園、日本科学未来館

会員・関係団体の主催行事

●NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

☞森林公園かんさつ会

（各日共通）国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所 10:20 集合、15:00 過ぎ終了解散、参加費、200円。入園料要、お弁当持参。雨天決行。ただし、公

園主催は、南口噴水前広場で受付をしています。

◆6月16日(日) 公園主催、当会協力

◆6月21日(金) 当会主催

梅雨の季節ですが、雑木林の中で、ギンリョウソウやイチヤクソウの花を楽しみましょう。トンボやチョウなどの昆虫類も観察します。植物の解説は太田先生です。

◆7月15日(月・海の日) 公園と共催

樹液に集まるオオムラサキなどの昆虫類とヤマユリの花を楽しみましょう。講師は、日本野鳥の会東京の大塚豊さんです。植物の解説は、太田先生です。

◆7月21日(日) 本会共催

講師の先生と園内のキノコを観察します。

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

☞おいしく・楽しく農業体験

2013年度予定表 ()内は予備日

月	日	活動内容予定
6	8	にんじん畑の手入れ、枝豆畑の片付け等
7	13	(16:00からの作業)とうもろこし畑の片付け
8		(休み月)
9	14	ブロッコリー、キャベツの収穫
10	12	大根畑の片付け・ビニールはがし
11	9	里芋の収穫・芋煮会
12	14	大根の収穫・ビニールはがし
1	11(18)	雑木林の手入れ・落ち葉掃き
2	8(15)	雑木林の手入れ・落ち葉掃き
3	8	雑木林手入れ 焼き芋・スープ・あそぼうパン

◆6月8日(土) 9:30 ごろ-12:30 ごろ

にんじん畑の手入れ、枝豆畑の片付け等

◆7月13日(土) 16:00 ごろ-19:00 ごろ

とうもろこし畑の片付け

集合：明見院(川越市今福 677)、時間：9:30 ごろから 12:30 ごろまで

クラブ会費：1家族 1,000 円(保険代・備品代等)、クラブ員でない参加者は1人 100 円(保険代)とします。

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵

(Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786)

☞「やめましょう!歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第1火曜日・第3木曜日(13:30-15:00)

◆6月4日(火)・20日(木)

◆7月2日(火)・18日(木)

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

2. 第2日曜日(9:30-11:00)

◆6月9日(日)・7月14日(日)

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第4土曜日(13:30-15:00)

◆6月22日(土)

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

☞百万灯夏まつりクリーン活動

◆7月27日(土)・28日(日) 13:00-15:00

川越駅東口から札の辻や市役所まで、パレード前に道路のポイ捨てごみ拾い。ごみは指定場所にまとめる。いつものアトレ横歩道橋下集合。参加人数でコース分け。前日までに武田まで。

☞「川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃」

原則として第4日曜日9時より2時間。参加できる人は、担当分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(090-2521-5770)へご連絡ください。

◆6月23日(日) 9:00-11:00

新河岸川下流域、新扇橋右岸たもと9時集合、不老川合流から旭橋まで別れて清掃。3か所(当日指示)にごみを集めて随時解散。

◆7月28日(日) 9:00-11:00

新河岸川起点から黄金橋までの上流域。八幡橋たもとに集合。「つなぎ」で川中も清掃。

●みなみかぜ いきいき田んぼの会

(川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会)

問い合わせ：社会福祉法人健友会みなみかぜ 後藤・田崎 (Tel.049-234-8500, Fax.049-239-5646)

活動日：4月からは、毎週火・金曜日。仲間として、いつからでも、誰でも参加できます。

会場(集合)：みなみかぜ地域交流センター(川越市吉田 204-2)。

☞農作業

◆毎週火・金・土曜日の午前中（9:00-11:00）。

（但し、イベント日・定例会（第2）の土曜日は除く）いつからでも、誰でも参加できます。会員になって1年通して生きものいっぱいの田んぼで米つくり、田んぼ生きもの調査、田んぼ遊びに参加ください。

☞第3回 生きものくらぶ

◆6月8日（土）13:30-16:30

6月は、草木がいっぱいの当会庭園での春夏の草木の観察会です。参加費（資料代・保険料を含む）は中学生以上500円（会員は300円）、小学生以下は親子同伴で。

☞みんなで！田植え

◆6月15日（土）9:00-13:00（受付8:45）

生物多様性を活かした田んぼつくりは、とうとう田植えです。50日掛けた大人の苗は、これから収穫の秋まで、お日様、わき水の助けをかりてがいきものいっぱいの田んぼで育ちます。参加費：100円（資料・保険料等）、会員なし

☞第1回田んぼのいきもの調査

（かわごえ環境ネットと共催）

◆6月29日（土）9:00-12:20

田んぼは米をつくるだけではありません。ミジンコ、イトミミズから始まり、稲と共に多種多様な動植物の生きものが移り変わります。田んぼ、畦、水路で身近な生きものを発見しよう！。参加費は200円（資料代・保険料を含む）、会員は100円。

☞第4回 生きものくらぶ

◆7月13日（土）13:30-16:30

7月は、畑の生きもの観察会。田んぼ・畑のできるお米や野菜は、私たちの作業と共に多様な生きものからの自然の恵みです。野菜・生きものについて学びましょう！。参加費（資料代・保険料を含む）は中学生以上500円（会員は300円）、小学生以下は親子同伴で。

●東洋大学環境コミュニケーションゼミ

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose*toyo.jp（*は半角@に変換ください）、Fax.049-239-1532）、

確定した詳しい情報は、エコキャンパスプロジェクト川越ホームページ（<http://team-6.eng.toyo.ac.jp/eco>）に順次掲載します。

☞笠幡農地保全プロジェクト「生きもの調査」と「草取り」

◆7月7日（日）10:00-12:00

6月2日に田植えをしてから1か月、どのような変化があったか観察するとともに、草取りなどの維持管理を行います。

☞学生ホール食堂棟 緑のカーテン

◆随時見学可（案内は要連絡）

5月30日に学生ホール食堂棟の高さ約9m、長さ30mのガラス面に緑のカーテンを設置しました。ゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラを植えています。学食（休日・日曜休み、土曜は昼間で）を利用するついでにぜひ見学ください。

☞サマースクール2013 in 川越キャンパス「大学の森で生き物観察」

◆7月21日（日）5:00-9:30（予定）

小中学生対象に実施（定員20名）。小瀬が担当します。申込6月28日（金）必着（申込多数の場合抽選）、申込方法等、詳細は大学ホームページ（<http://www.toyo.ac.jp>）で案内しています。

●コミュニティ川越 Likers

問い合わせ：Facebook: <https://www.facebook.com/KawagoeLikers>, E-mail: info@kawagoe.jp

☞「キャンドルナイト川越2013」の開催（6/21）とロウソク提供のお願い

6月21日（金）18:30より、小江戸蔵里にて「キャンドルナイト川越2013」を行います。当日1000個のキャンドルに火を灯し、東日本大震災から3年の月日が経った今、震災の記憶をとどめ鎮魂とあらためてスローライフを实践するきっかけにします。また男性ボーカルユニットVOXRAY（ボクスレイ）によるアカペラで雰囲気作りを致しますのでご家族で楽しめます。

つきましてはキャンドルを作成するにあたり、身近に余っているロウソクをご提供ください。ロウソクは一度溶かしキャンドルとして当日使用させていただきます。また当日はキャンドル

ナイトの点火にもぜひご参加いただき、スローライフをみんなで考えましょう。

ロウソク送付先：郵便、メール便にて 350-0043 川越市新富町 1-8-11-202

※沢山あり過ぎて送れないという方、自治単位で取りまとめ下さった方、引き取りに参りますのでご連絡ください。

☞クールシェアスポットを募集しています！



クールシェアは「エアコン消して 涼しいところを集まろう」というキャッチコピーのもと、一人で一台のエアコンを使わず一か所に集まり、涼しい場所をみんなで共有し電力の無駄使いを減らそうとする取り組みです。スポットを広く市民の方々に知ってもらい、地域の自然が多く涼しい場所に気付いたり、公園や図書館等の公共施設の有効活用を見出したり、地元で根差した商店や企業がその場所を提供して、そこに集まる人びとがエコ意識を共有することで人とひとの交流が生まれます。

クールシェアする場所であるスポットを広く民間からもご提供ください。登録できる施設や店舗は、エアコンの過度な使用を控え、ゆっくりと落ち着いた時間を過ごせる場所とします。商店や企業にはスポットとして登録してもらい、

ステッカーを貼ること以外の PR 方法やサービスの提供はお任せ致します。ステッカーを持参いたしますので、ぜひ趣旨にご賛同いただきご連絡をお待ちしております。

●公益財団法人埼玉県生態系保護協会
川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一 (Tel.049-222-0957)、当日の携帯電話連絡 (Tel.080-6584-3010)

☞伊佐沼でバードウォッチング(毎月第2日曜日)
時間：10:00 集合-12:00 (小雨決行)

集合：伊佐沼西岸蓮見橋、解散は集合場所で 12:00 ごろ。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物。参加費：300 円、高校生以下 100 円 (保険料・資料代として)

◆6月9日(日)

夏鳥が揃って出迎えてくれます。オオヨシキリ、オオバン、コアジサシ、コチドリなど。カイツブリは可愛い子連れで泳いでいます。

◆7月14日(日)

ピンクの古代蓮の花が咲きそろい、カイツブリやカルガモの雛は無事に育っています。暑いですが楽しい観察会になるでしょう。

●平成 25 年度川越市市民講座 (前期)

☞元素を知って環境や健康を考えよう

◆7月11日・8月8日・10月10日・11月14日(木) 10:00-11:30

場所：名細公民館

講師：浜尾春子さん (本会会員)

*6月7日消印有効、申込者 10 名以上で開講です)。ぜひご参加ください。詳しくは、川越市ホームページ「平成 25 年度川越市市民講座(前期)受講者を募集します。」または文化スポーツ部文化芸術振興課 生涯学習推進担当 (049-224-6157) まで

イベントカレンダー (6月2日~7月24日)

日	月	火	水	木	金	土
6/2 ●8:00 川の一 斉水質調査 ◎9:00 田植え(笠 幡農地保全)	6/3	6/4 ★9:00 池辺公 園定例活動 ◎13:30 まち 美化啓発運動	6/5	6/6	6/7 ○平成25年度 川越市市民講 座(前期)申 込締切(消印 有効)	6/8 ◎9:30 おいし く楽しく農業 体験 ◎13:30 生き ものくらぶ
6/9 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐 沼でバードウ ォッチング	6/10 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地植物調査	6/11	6/12	6/13 ★9:00 小堤・ 八幡水路魚類 調査	6/14 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	6/15 ★9:00 環境月 間 環境啓発展 ◎9:00 田植え (みなみかぜ) ○本誌6月号 原稿投稿期限
6/16 ★9:00 環境月 間 環境啓発展 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	6/17	6/18 ◆9:00 広報委 員会	6/19	6/20 ◎13:30 まち 美化啓発運動	6/21 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会 ◎18:30 キャ ンドルナイト 川越2013	6/22 ◎13:30 まち 美化啓発運動
6/23 ◎9:00 新河岸 川市内流域の 清掃	6/24 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地保全活動	6/25 ◆9:00 理事会 ◆11:00 事業 運営委員会	6/26	6/27	6/28 ○東洋大学サ マースクール 申込締切(必 着)	6/29 ◎9:00 田んぼ のいきもの調 査
6/30	7/1	7/2 ★9:00 池辺公 園定例活動 ◎13:30 まち 美化啓発運動	7/3	7/4	7/5	7/6
7/7 ★9:00 キノコ の観察会 ◎10:00 「いき もの調査」と 「草取り」	7/8 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地植物調査	7/9	7/10	7/11	7/12 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	7/13 ◎16:00 おい しく楽しく農 業体験 ◎13:30 生き ものくらぶ
7/14 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐 沼でバードウ ォッチング	7/15 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会 ○本誌7月号 原稿投稿期限	7/16 ◆9:00 広報委 員会	7/17 ★9:00 仙波河 岸史跡公園植 物調査	7/18 ◎13:30 まち 美化啓発運動	7/19	7/20
7/21 ◎5:00 サマース クール「大学の森 で生き物観察」 ★9:30 郊外ク リーン活動 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	7/22 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地保全活動	7/23 ◆9:00 理事会	7/24	★: 会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●: 会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆: 理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎: 会員主催のイベント等 ○: その他 詳細は個別の記事をご覧ください		

月刊 かわごえ環境ネット 2013年6月号 No.080

発行日 2013年6月1日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>